

家庭学習プリント【5年理科No.1 天気と情報(1)①】(教科書p. 6～7)

5年()組()番 名前()

○ 天気の変化

1 よく見てみよう《教科書p. 6・7参照》

・教科書p. 6・7の写真を見て、下の表にあてはまる言葉を書き入れよう。

	午前10時	午前11時	午後3時
雲の量	ほとんどない	うすい雲でおおわれている	あつい雲でおおわれている
雲の色	白色	白色	灰色
天気(○を付けよう)	晴れ・くもり・雨	晴れ・くもり・雨	晴れ・くもり・雨

2 予想しよう

・天気は、雲のようすとどのような関係があるのだろうか。

雲の量が変わると、天気も変化していくと思う。

など

3 雲の様子を観察してみよう(午前、午後：1回ずつ) ※ 例

時こく	午前 10 時	午後 2 時
天気	晴れ	くもり
雲の量	少ない	多い
雲の形	小さなわたあめのような雲	うすく大きく広がっている
雲の動き はやさ・向き	西から東へゆったりと動いていた。	向きは変わらないが、10時の時よりも速さは速くなった。
天気の変化	雲が増えると、天気が晴れからくもりになった。	

家庭学習プリント【5年理科No.2 天気と情報(1)②③】(教科書p. 8～9・178)

5年()組 ()番 名前()

○ 1 天気と雲

問題 天気は、雲のようすとどのような関係があるのだろうか。

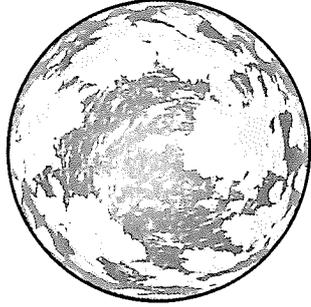
1 知ろう (雲の観察の仕方)《教科書p. 8・9参照》

① 下の()の中にあてはまる数を書き入れなさい。

晴れとくもりの決め方は雲の量で決めている。

・空全体の広さを10としたとき、雲のしめる量が、(0 ～ 8)のときは「晴れ」、(9 ～ 10)のときは「くもり」としている。

② 次の雲の様子と雲の量の時の天気を、それぞれ書き入れなさい。

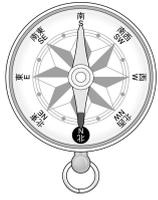
雲の様子			
雲の量	3	8	9
天気	晴れ	晴れ	くもり

2 観察準備をしよう。《教科書p. 9参照》

- ・午前の(天気)や(雲)の様子(量や形、動き)を調べて記録する。
- ・午後も(同じ)場所で天気や雲の様子を調べる。
観察した天気の変化をまとめる。
- ・同じように(4 、 5)日間観察する。

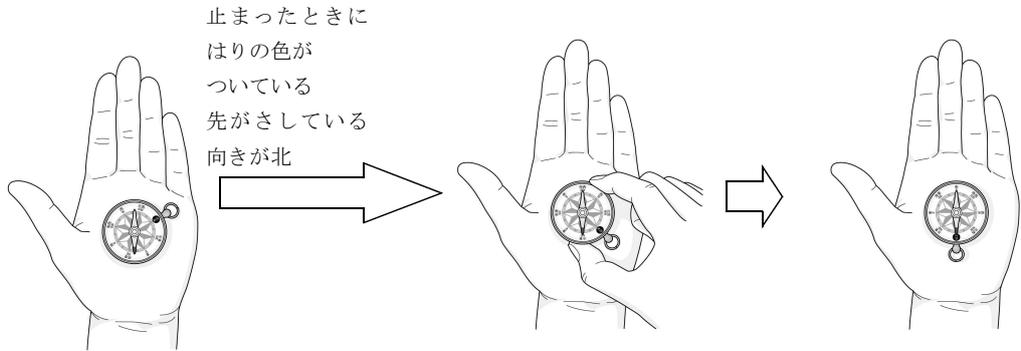
3 使い方を覚えよう（方位磁針）《教科書p. 178参照》

下の（ ）の中にあてはまる言葉を書き入れなさい。



方位磁針

はりの色がついている先が北をさすため、方位を知ることができる。



止まったときに
はりの色がついている
先がさしている
向きが北

① 方位磁針が（ 水平 ）になるように手のひらに置く。
（ 針 ）の動きが止まるまで待つ。

② （ ケース ）を回して、針の（ 色がついている ）先の向きと文字ばんの（ 「北」 ）の向きを合わせる。

4 まとめよう《教科書p. 10・11参照》

① 下の（ ）の中にあてはまる言葉を書き入れなさい。

- ・天気は、雲の（ 量 ）や（ 動き ）と関係がある。
- ・天気は、雲の量が（ 増え ）たり、（ へっ ）たりすることや、雲が（ 動く ）ことによって変化している。
- ・雲にはいろいろな（ 種類 ）があり、中には（ 雨 ）をふらす雲もある。

② いろいろな雲について、以下の表にまとめよう。

巻雲（けんうん）	乱層雲（らんそううん）
高い空に見られるはげでかいたような白い雲。すじ雲ともよばれている。	低い空に広がる厚いはい色または黒い雲。雨をふらすので雨雲ともよばれている。
層積雲（そうせきうん）	積乱雲（せきらんうん）
低い空に見られるいろいろな形がある雲。うね雲ともよばれている。	低い空から高い空まで広がる雲。夏にもよく見られる雲で、入道雲やかみなり雲ともよばれている。この雲が急な大雨や台風をもたらす。冬の日本海側では大雪をふらす。

家庭学習プリント【5年理科No.3 天気と情報(1)④⑤】(教科書p.12~16)

5年()組 ()番 名前()

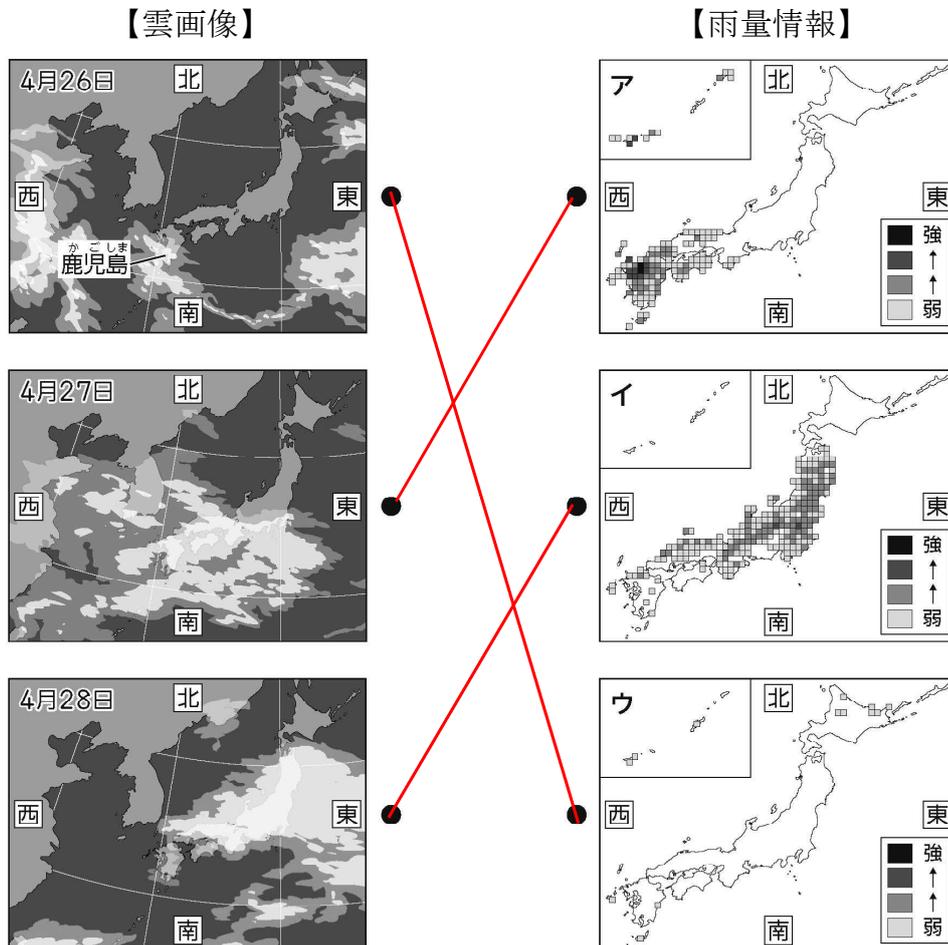
○ 2 天気の変化

問題 天気はどのように変わっていくのだろうか。

1 知ろう (気象情報の読み取り方)《教科書p.13参照》

<p>地いきのおよその天気は、雲画像からはくもがあること 雨量情報からは、雨がふっていることがわかる。</p>	
<p>【気象衛星の雲画像】 雲画像の (白) ところが (雲) を表している</p>	<p>【アメダスの雨量情報】 雨量を「弱」から「強」の (色分け) で示している。</p>

下の図の4月26日~28日の雲画像と同じ日の雨量情報をアイウの中から選び、それぞれ線で結びなさい。



2 調べる準備をしよう《教科書p. 13参照》

- ・気象情報は、(インターネット) や (テレビ)、(新聞) などから手に入れる。
- ・(連続) した数日間、同じ時間の気象情報を集める。
- ・集めた気象情報を、(日付順) に並べて、(雲) の様子や (雨量) の変化について調べる。

3 気象情報から各地の天気をまとめよう。《教科書p. 14・15参照》

	福岡	京都	名古屋	東京
4月26日	くもり	晴れ	晴れ	晴れ
4月27日	雨	くもり	くもり	くもり
4月28日	雨	雨	雨	雨
4月29日	晴れ	くもり	晴れ	晴れ

② 教科書p. 14・15の気象情報を読み取り、気づいたことを書こう。

雲は西から東へ動いている。
 雨も雲と同じように西から東へ動いている。
 天気は西から東へ変わっていく。 など

4 まとめよう《教科書p. 16参照》

☆ () の中にあてはまる言葉を書き入れよう

・(春) のころの日本付近では、雲が (西) から (東) へと動いていくので、(天気) もおよそ西から東へと変わっていく。

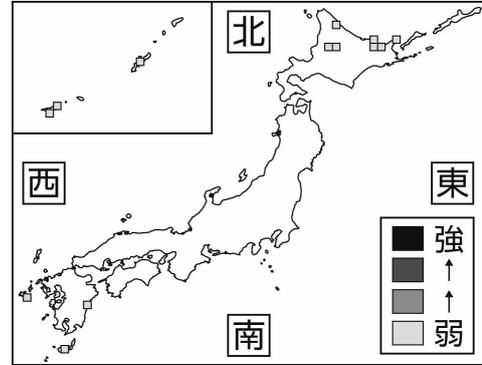
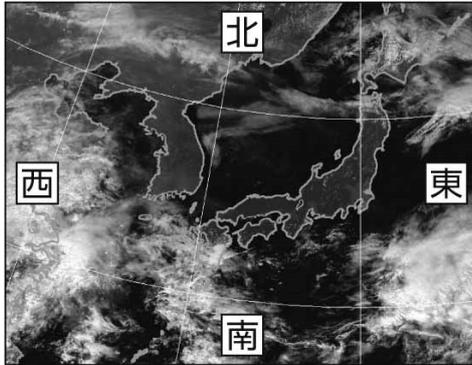
家庭学習プリント【5年理科No.4 天気と情報(1)⑥】(教科書p.16・17)

5年()組()番 名前()

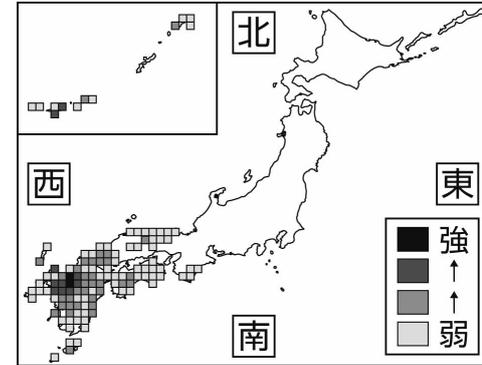
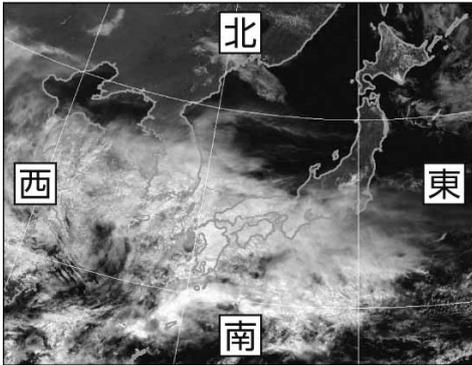
○ 深めよう《教科書p.16・17参照》

① これまで学んだことを生かし、名古屋の4月10日の天気を予想してみよう。

4月8日



4月9日



天気は西から東へ変化するので、今日、九州が雨だから名古屋も雨だと思う。

② 季節ごとの天気のとくちょうをまとめよう。

つ ゆ	6～7月の天気は西から東にかけて雲が広がり、くもりや雨の日が続く。	夏	晴れの日が続き、気温が高く上がり、そしてむし暑くなる。また、台風が日本付近に近づいてくる。
秋	9～10月初めの天気は、雨の日が多くなる。その後、さわやかな晴れの日が多くなる。	冬	日本海側ではくもりや雪の日が続く一方、太平洋側では晴れの日が続く。